



# CentreCOM™ LA100-PCI

## WindowsNT Version 4.0 NetWare Version 4.11J MS-DOSクライアント

CentreCOM LA100-PCI シリーズイーサネットアダプターをご購入いただき、誠にありがとうございます。この文書は、「LA100-PCIシリーズ ユーザーズマニュアル」の内容を補足するもので、以下の内容が記載されています。

1. WindowsNT Ver. 4.0 .....	2
2. NetWare 4.11J クライアント (MS-DOS) .....	12
3. NetWare 4.11J サーバー .....	14
4. 最新ドライバーソフトウェアの入手方法 .....	15
5. 本文書に関するご注意 .....	16

本文書は以下の仮定のもとに記述されています。

- [1] AT互換機の場合はフロッピーディスクドライブをA:、インストール先ドライブをC:、CD-ROMドライブをE:と仮定します。
- [2] PC-98シリーズの場合はフロッピーディスクドライブをB:、インストール先ドライブをA:、CD-ROMドライブをD:と仮定します。
- [3] Windows NT Ver.4.0 はご使用のコンピュータに既にインストールされているものとします。

 アライドテレシス株式会社

---

# 1. WindowsNT Ver. 4.0

WindowsNT Ver. 4.0にNDISドライバーをインストールする手順を説明します。ドライバーは、「LA100-PCIドライバーディスク」の「¥WINDOWS.NT」に置かれています。

ドライバーディスクは、「PC-98シリーズ」用、「AT互換機」用の2種類が同梱されています。インストール対象のパソコン機種に合わせてご使用ください。



Windows NTのハードウェア互換性リスト(Windows NTパッケージに同梱されています)に挙げられていないパソコン機種で本ドライバーをご使用になる場合は、お客様の責任においてご使用ください。それらのパソコン機種で本ドライバーをご使用になる場合は、ユーザーサポートの対象になりません。



ここに挙げた例は一例であり、お客様の使用するパソコンやネットワーク環境によって、手順や表示画面が異なることがあります。予めご了承ください。

本書では、Windows NT Serverを用いて説明を行います。Windows NT Workstationをご使用の場合は画面の様子が本書に掲載しているものと若干異なる場合がありますが、インストールの手順はほぼ同じです。

---

## 1.1 インストールの手順(概要)

本アダプターを使用するための手順は以下の通りです。

- 1 **本アダプターをパソコンの拡張スロットに取り付けます。**  
設置の手順は「ユーザーズマニュアル」第2部「1 本アダプタの組み込み」をご覧ください。
- 2 **本アダプターをイーサネットに接続します。**  
接続の手順は「ユーザーズマニュアル」第2部「2 イーサネットに接続する」をご覧ください。
- 3 **ドライバーのインストールを行います。**  
本書「1.2 NDISドライバーのインストール」にしたがって、インストールを行ってください。

## 1.2 NDIS ドライバーのインストール

「既に WindowsNT Ver.4.0 のインストールは終了しているが、アダプター用ドライバーを含むネットワーク環境が全くインストールされていない」<sup>†1</sup>場合の本アダプター用ドライバーのインストール手順について説明します。また、ここでは Windows NT Setup が要求する問い合わせに対して、基本的にデフォルトで答えると仮定しています。

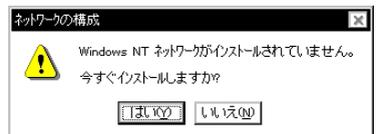
- (1) 「マイコンピュータ」アイコンをダブルクリックしてください。「マイコンピュータ」ウィンドウが表示されます。



- (2) 「マイコンピュータ」ウィンドウの「コントロールパネル」アイコンをダブルクリックしてください。「コントロールパネル」ウィンドウが表示されます。



- (3) 「コントロールパネル」ウィンドウの「ネットワーク」アイコンをダブルクリックしてください。図 3 のダイアログが表示されます<sup>†1</sup>。「今すぐインストールしますか？」の問いに対して、「はい (Y)」をクリックしてください。



†1 「Windows NT ネットワークのインストール」で「まだネットワークに接続しない (D)」を選択したとき、このダイアログが表示されます。

- (4) 「ネットワークセットアップウィザード」ダイアログが表示されます。「ネットワークに接続 (W):」にチェックマークを付け、「次へ (N)>」をクリックしてください。

図 4



- (5) 下記のダイアログが表示されたら、「一覧から選択 (S):」をクリックしてください。

図 5



- (6) 本アダプター用のドライバーを選択します。

CD-ROMからインストールする場合

「ネットワークアダプタの選択」ダイアログから「Allied Telesis LA100-PCI-T Adapter」を選択し、「OK」をクリックしてください。

図 6



† 1 「Windows NT ネットワークのインストール」で「まだネットワークに接続しない (D)」を選択したとき、このダイアログが表示されます。

## ドライバーディスク<sup>†1</sup>からインストールする場合

図6（前ページ）の「ディスク使用 (H)」ボタンをクリックしてください。

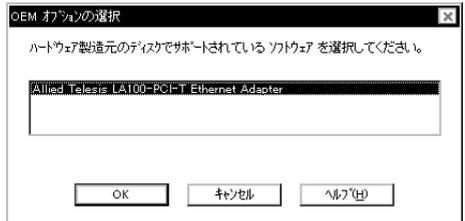
図7のダイアログが表示されますので、ディレクトリとして「drv:¥windows.nt」を入力し、「OK」をクリックしてください。ここでdrvは、フロッピーディスクのドライブ名です。

図7



「Allied Telesis LA100-PCI-T Ethernet Adapter」を選択し、「OK」をクリックしてください。

図8



- (7) 「ネットワークセットアップウィザード」の「ネットワークアダプタ (A):」の「Allied Telesis LA100-PCI-T Ethernet Adapter」（または「Allied Telesis LA100-PCI-T Ethernet Adapter」<sup>†</sup>、以下同様）にチェックマークを付け、「次へ (N):」をクリックしてください。

図9



- (8) 使用するネットワークプロトコルにチェックマークを付け、「次へ (N):」をクリックしてください。お客様のネットワークでどのようなプロトコルが使用されているかは、システム管理者にご相談ください。ここでは、「TCP/IP プロトコル」のみをチェックすると仮定します。

図10



<sup>†1</sup> フロッピーディスクでの供給の場合、CD-ROMに含まれるドライバーよりも新しいものが提供されることがあります。最新のドライバーは、バグフィクスや機能の改良などがほどこされています。最新のドライバーの入手方法は「4. 最新ドライバーの入手方法」をご覧ください。

- (9) 使用するサービスにチェックマークを付け、「次へ (N):」をクリックしてください。お客様のネットワークでどのようなサービスが使用されているかは、システム管理者にご相談ください。



図 11

- (10) メッセージを確認して、「次へ (N):」をクリックしてください。



図 12

- (11) CD-ROMドライブにWindows NTの供給ディスクを入れ、WindowsNTのインストール元のディレクトリを指定してください。AT 互換機の場合は「drv: ¥i386」、PC-98の場合は「drv:¥PC98」となります。ここで drvは CD-ROM ドライブのドライブ名です。

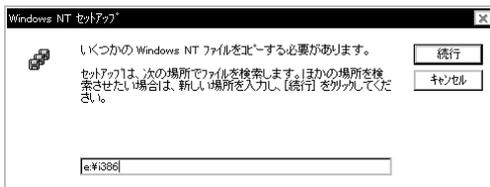


図 13

- (12) LA100-PCI-Tの設定を行います。適切な項目を選択したあと「OK」をクリックしてください。

Connection Type:

10BASE-T、100BASE-TX、全2重、半2重などの選択を行います。デフォルトは「AutoSense」です。

図 14a



## AutoSense

Auto-negotiationを有効(Enable)に設定します。接続されているハブがAuto-negotiationをサポートしている場合、可能な最高の速度となります。しかしながら、ハブがAuto-negotiationをサポートしていない場合、通信速度のみ自動的に検出し、検出された速度の半2重モードとなります。ハブがAuto-negotiationはサポートしていないが、100Mbpsの全2重モードをサポートしている場合、最高の通信速度を得るためには「100BaseTx Full\_Duplex」を選択しなければなりません。

## 100BaseTx

100BASE-TXの半2重モードに設定します。

## 100BaseTx Full\_Duplex

100BASE-TXの全2重モードに設定します。

## 10BaseT

10BASE-TXの半2重モードに設定します。

## 10BaseT Full\_Duplex

10BASE-TXの全2重モードに設定します。

## Transmit Threshold:

Store And Forward(後述)がDisabledのときに意味をもつパラメータで、送信開始のしきい値を指定します。通常は、AutoSelectでご使用ください。

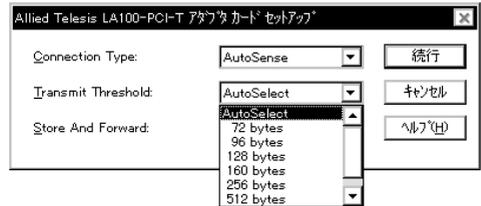


図 14b

例えば、96bytesを選択した場合、送信FIFOバッファに96バイトがたまった時点でパケットの送信が開始されます。AutoSelectを選択した場合は、自動的に最適な値を選択します。72、96、128、160bytesは10BASE-Tで使用する場合の値、256、512、1024bytesは、100BASE-TXで使用する場合の値です。

## Store And Forward:

本アダプターが送信を開始するタイミングを指定します。通常は、Disabledでご使用ください。



図 14c

Disabledを選択した場合はTransmit Threshold ( ) の設定が有効になります。Enabledを選択した場合は、送信データの全てが送信FIFOバッファにたまった時点でパケットの送信が開始されます。

- (13) コピーが始まります。



図 15

- (14) 「DHCPを使用するか？」を質問されます。  
ここでは、デフォルトである「いいえ (N)」をクリックすると仮定します。



図 16

- (15) (14)でDHCPを使用しない設定としたので、TCP/IPのプロパティとしてIPアドレスなどの値を設定しなければなりません。次に入力例を示します。これらの値は、お客様の環境における値を入力してください。



図 17

- (16) DNS (Domain Name System) の設定をします。  
「DNS」のタブをクリックしてください。図 18 に入力例を示します。ここでは、ホスト名として「keith」を仮定しています。



図 18

- (17) 続いて、「WINS(Windows Internet Name Service) アドレス」の設定を行います。右の画面では、「Windows 名前解決に DNS を使う (N)」を仮定しました。

必要であれば、さらに「DHCP リレー」「ルーティング」の設定を行い、最後に「OK」をクリックしてください。これらの設定の詳細についてはシステム管理者にご確認ください。

図 19 は Windows NT Server の場合の例です。Windows NT Workstation をご使用の場合は「DHCP リレー」タブはありません。



図 19

- (18) 「次へ (N)」をクリックしてください。



図 20

- (19) 「次へ (N)」をクリックしてください。



図 21

- (20) 「次へ (N)」をクリックしてください。  
図 22 では、「ワークグループ (WORKGROUP)」をそのまま使用すると仮定します。

図 22



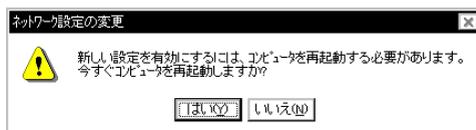
- (21) 「完了」をクリックしてください。

図 23



- (22) 「はい (Y)」をクリックし、パソコンを再起動してください。

図 24



### 1.3 本アダプターのドライバーを削除する

- (1) 「マイコンピュータ」 「コントロールパネル」 「ネットワーク」とたどって行き、「ネットワーク」パネルの「アダプタ」タブをクリックしてください。



図 25

- (2) 「ネットワークアダプタ (N):」で「Allied Telesis LA100-PCI-T Ethernet Adapter」を選択し、「削除 (R)」ボタンをクリックしてください。

ネットワークアダプターを削除しても、そのアダプターにバインドしていたプロトコルや、サービスは削除されません（一部の設定値、例えば TCP/IP における IP アドレスなどは削除されます）。したがって、ドライバーを再インストールすれば、再びそれらのプロトコル、サービスなどを使用することができます。

---

## 2. NetWare 4.11J クライアント (MS-DOS)

AT 互換機、PC-98 シリーズにおける NetWare 4.11J の MS-DOS、Windows 3.1 クライアントのインストールにおける要点を説明します。インストール手順の詳細は、NetWare 4.11J のマニュアルをご覧ください。

また、ここではインストールでは、「クライアントフロッピーディスク」を使用すると仮定します (CD-ROM から直接インストールすることもできます)。「クライアントフロッピーディスク」は、NetWare の CD-ROM の「INSTALL」コマンドで作成することができます。

本アダプター用のドライバーディスクは、「PC-98 シリーズ」用、「AT 互換機」用の 2 種類が同梱されています。インストール対象のパソコン機種に合わせてご使用ください。

---

### 手順

- (1) 「NetWare Client for DOS and MS Windows Disk 1」をフロッピードライブに入れ、下記のコマンドを実行してください。

#### AT 互換機

```
A: ¥>INSTALL
```

#### PC-98 シリーズ

```
B: ¥>INSTALL
```

- (2) 表示される質問に対して、メニュー「番号」を入力してください。質問項目は、以下の 3 点です。
  - ・お使いのコンピュータの選択
  - ・インストールするクライアントの選択
  - ・時間に関する環境変数の設定
- (3) NetWare のインストーラが表示するメッセージにしたがい、表示されている項目 1、2、3、4 の問いを決定してください。
- (4) 「5. ネットワークボードのドライバーを選択してください」を実行すると、「ドライバディスクの挿入」を促す画面が表示されます。フロッピードライブを LA100-PCI ドライバーディスクに入れ替え、下記のディレクトリ名を入力してリターンキーを押してください。

#### AT 互換機

```
A: ¥NETWARE.DOS¥NW411
```

#### PC-98 シリーズ

```
B: ¥NETWARE.DOS¥NW411
```

- (5) 「CentreCOM LA100-PCI」を選択し、リターンキーを押してください。

- (6) 「CentreCOM LA100-PCIの設定」という画面が表示されます。以下の項目の設定が終了したらESCキーを押し、この画面を終了してください。

Media Frame Type(S)

ご使用になるフレームタイプを選択してください。

- (7) 以後、インストールプログラムが表示するメッセージに従って操作してください。
- (8) インストールが終了し、DOSプロンプトが表示されたら、リセットスイッチを押してパソコンを再立ち上げしてください。

---

## インストール結果

インストールが終了すると、NetWareクライアントの動作に必要なファイルやドライバー「LA100.COM」がコピーされ、NET.CFG、STARTNET.BATが作成されます。NetWareのインストーラは、AUTOEXEC.BATに「@CALL drv:¥NWCLIENT ¥STARTNET」、PATHに「drv:¥NWCLIENT」、時間に関する環境変数「SET TZ=JST-9」を追加します（「drv:」はドライブ名）。

NetWareクライアントのインストーラに対して、デフォルトの項目を選択したときのNET.CFG、STARTNET.BATを示します。

### NET.CFG (PC-98)

```
Link Driver LA100
  FRAME Ethernet_802.2

NetWare DOS Requester
  FIRST NETWORK DRIVE = F
  NETWARE PROTOCOL = NDS BIND
  SHORT MACHINE TYPE = PC98
  LONG MACHINE TYPE = NEC_PC
```

### NET.CFG (AT 互換機)

```
Link Driver LA100
  FRAME Ethernet_802.2

NetWare DOS Requester
  FIRST NETWORK DRIVE = F
  NETWARE PROTOCOL = NDS BIND
  SHORT MACHINE TYPE = DOSV
```

## STARTNET.BAT

下記に AT 互換機における例を挙げます。PC-98 シリーズでは、ドライブ名「C:」は「A:」となります。

```
SET NWLANGUAGE=nihongo
C:¥NWCLIENT¥LSL.COM
C:¥NWCLIENT¥LA100.COM
C:¥NWCLIENT¥IPXODI.COM
C:¥NWCLIENT¥VLM.EXE
```

---

## 手作業による NET.CFG の編集について

NetWare 3.11J や当社の CentreNET PC/TCP との共存環境を構築したり、回線速度、全 2 重 / 半 2 重などの設定を行う場合は、別冊子「ユーザーズマニュアル」の「3.1.1 NetWare クライアントのインストール結果 (NET.CFG)」をご覧ください。これらの記載内容は、NetWare 4.11J に対しても適用できます。

---

## 3. NetWare 4.11J サーバー

NetWare 4.11J サーバーのインストール手順は、4.1J サーバーの手順とほぼ同様です。別冊子「ユーザーズマニュアル」の「3.3 NetWare 4.1J サーバー」をご覧ください。ここでは、注意すべき点についてのみ説明します。

ユーザーズマニュアルに記載の (3) において、項目「**ドライバのロード**」は 4.11J では項目「**追加ドライバの選択**」となっています。

ユーザーズマニュアルに記載の (5) において、次のディレクトリを入力してください。ここでは、フロッピードライブを A: と仮定します。

```
A:¥NETWARE.386¥NW411
```

## 4. 最新ドライバーソフトウェアの入手方法

当社は、改良などのために予告なく、本製品のドライバーのバージョンアップやパッチレベルアップを行うことがあります。最新のドライバーソフトウェアは、次の3つの方法で入手することができます。

### NIFTY-Serve からの入手

- (1) NIFTY-Serve にログインし、TOPメニューのプロンプト「>」に対して、「GO SLANVB」を入力します。
- (2) <LAN Vendor Station B>に入会していない場合、入会手続きの「3」を行ってください。「2」の「一時利用」では、ダウンロードを実行できません。既に入会済みの場合はこの手続きは表示されません。
- (3) <LAN Vendor Station B>のトップメニューが表示されます。データライブラリの「4」を入力してください。
- (4) ライブラリ名から Allied Telesis Data Libraryの「4」を入力してください。
- (5) データライブラリでデータ一覧の「1」を入力してください。
- (6) 一覧の中からご希望のドライバーの番号を入力してください。
- (7) 表示される指示にしたがって、ダウンロードを実行してください。

### インターネットのホームページからの入手

- (1) Microsoft Internet Explorer、Netscape NavigatorなどのWebブラウザを使用して、アライドテレシスのホームページ「<http://www.allied-teslis.co.jp>」にアクセスします。
- (2) 「DOWNLOAD」をクリックしてください。
- (3) 「LAN アダプター・ドライバー」の「FTP Server」をクリックしてください。
- (4) 「pub/」ディレクトリをクリックしてください。
- (5) 「drivers/」ディレクトリをクリックしてください。
- (6) ご希望のドライバーをクリックしてください。

### フロッピーディスクでの入手

当社のカスタマー・マーケティング (TEL.  0120-860-442、9:00 ~ 17:30 / 月~金) までお問い合わせください。実費にて最新ドライバーのフロッピーディスクをご提供いたします。

---

## 5. 本文書に関するご注意

- (1) 本マニュアルは、アライドテレシス(株)が作成したもので、全ての権利をアライドテレシス(株)が保有しています。アライドテレシス(株)に無断で本書の一部または全部をコピーすることを禁じます。
- (2) アライドテレシス(株)は、予告なく本マニュアルの一部または全体を修正、変更することがありますのでご了承ください。
- (3) アライドテレシス(株)は、改良のため製品の仕様を予告なく変更、改良することがありますのでご了承ください。
- (4) 本製品の内容またはその仕様に関して発生した結果については、いかなる責任も負いかねますのでご了承ください。

(C) 1997 アライドテレシス株式会社

Microsoft、Windows、MS-DOSは米国 Microsoft Corporation の登録商標です。

Novell、NetWareは、米国 Novell, Inc. の登録商標です。

この文書に掲載されているソフトウェアおよび周辺機器の名称は各メーカーの商標または登録商標です。

### マニュアルバージョン

1997年01月	Ver.1.0 pl 0	1st release
1997年03月	Ver.1.0 pl 1	記述変更